

LCJCカップ運営におけるガイドライン（熊本県U12部会ガイドラインに遵守し定める）

- 初日二日目ともに会場責任者を設置する。
- 初日二日目ともに感染対策責任者を設置する
- 施設管理責任者の制限人数に則り会場観客数を制限する
 - ※ 各チームの会場及び待機場所では、選手及びチームサポーター、チームスタッフのみが活動する。
 - ※ チームスタッフ及びチームサポーターは、常にIDを着用する。
 - ※ チームスタッフ・・・チーム責任者、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー
帯同審判、コミッショナー担当
 - ※ チームサポーター・・・チーム（選手）を管理する者（大人限る）
- 受付の設置
 - ・検温、健康チェック表回収、IDの確認、手の消毒（再検温）
- 選手及びチームスタッフ、チームサポーターの待機場所の設置
 - ・3密を避け、風通しがよい場所
- 感染症対策及び熱中症対策を最大限講じたコート設営
 - ・ベンチ及びTO席等の感染症対策及び熱中症対策を講じて設営する。
 - ・窓を全開にしたり、扇風機等を設置したりして換気をよくする。
- 試合及び試合間の取組
 - ・試合中の大声での声援及び指示等の禁止 クォータ毎選手に必ず手指の消毒を促す。
 - ・試合後の各ベンチへの挨拶及び選手同士の握手の禁止 ハグ、ハイタッチ、円陣も禁止する
 - ・試合終了後、ベンチ及びTO席の消毒
- 更衣室の対応
 - ・更衣室での人数も制限する。
- マスクの着用
 - ・選手、チームスタッフ、チームサポーター、大会役員はマスク着用
 - ※試合直後やタイムアウトの場合に熱中症対策として外しても良い。しかし、マスクを外した場合は、声を発しない。（飛沫が飛ばないようにする）
- 審判は、ホイッスルカバーを着用する。試合間は手指、ボールの消毒。
- 試合が終わった選手及びサポータースタッフは役員を除き退館する。観戦させない。
 - ※但し表彰対象チームは表彰後に退館させる。

各チームにおける対策

- 日頃の健康管理
 - 入り口での検温
 - 健康チェックシートの提出（2週間分） 1人1枚
 - 入館者名簿の提出（チーム1枚）
 - 館内でのマスク着用
 - 館内では必ずIDを携帯する
 - 再入場の際も検温を行う
 - 大声での声援を控える
 - アリーナ内及び待機場所でのソーシャル・ディスタンスの確保
 - こまめに水分補給を行う
 - 水分補給は個人のボトルのみで行う
 - 試合終了後は、試合当事者でベンチの消毒を行う
 - 昼食等の飲食を行う際には、飛沫が飛ばないように配慮する
 - 天候がよければ飲食等は、屋外の日陰で涼しい場所で行う
 - 下足袋の準備、観客席用ゴミ袋、消毒液は各チームで準備。
 - チームサポーターによる選手（子供たち）の健康管理
 - オフィシャル用手袋、筆記具、フェイスシールドは各チームで準備。
 - クォーターごとに選手は手指の消毒
-
- マナーについて
 - ・2階からもの渡す、ゴミを持って帰らない、バッシュを履き替えないでトイレに行く、審判に文句をいう。相手チームを蔑むなどあってはならない。
 - ※審判やコミュッショナーや選手、コーチに対する暴言や批判はインティグリティに、反する行為であり、テクニカルファールの対象となります。
 - インティグリティとは
 - 誠実、真摯、高潔を意味します。

大会参加基準

	判断基準	備考
チーム不参加	チーム関係者に感染者が複数出た場合	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について保健所及び大会主催者と相談する。
チーム参加検討	・チーム関係者にPCR検査を受ける、または、受ける予定者が複数いる場合 ・チーム関係者に濃厚接触者又はその疑いがある者が複数いる場合。	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について保健所及び大会主催者と相談する
指導者及び選手の 不参加	・PCR検査で陽性となった場合 ・PCR検査を受ける、または受ける予定の場合 ・濃厚接触者又はその疑いがある場合。	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について保健所及び大会主催者と相談する
指導者及び選手の 参加検討	・選手の学校及び指導者の職場等で社会体育への参加について指示等が出ている場合	大会主催者と相談する。 学校側から指示が出ている場合、学校に相談、大会は参加・不参加の判断。